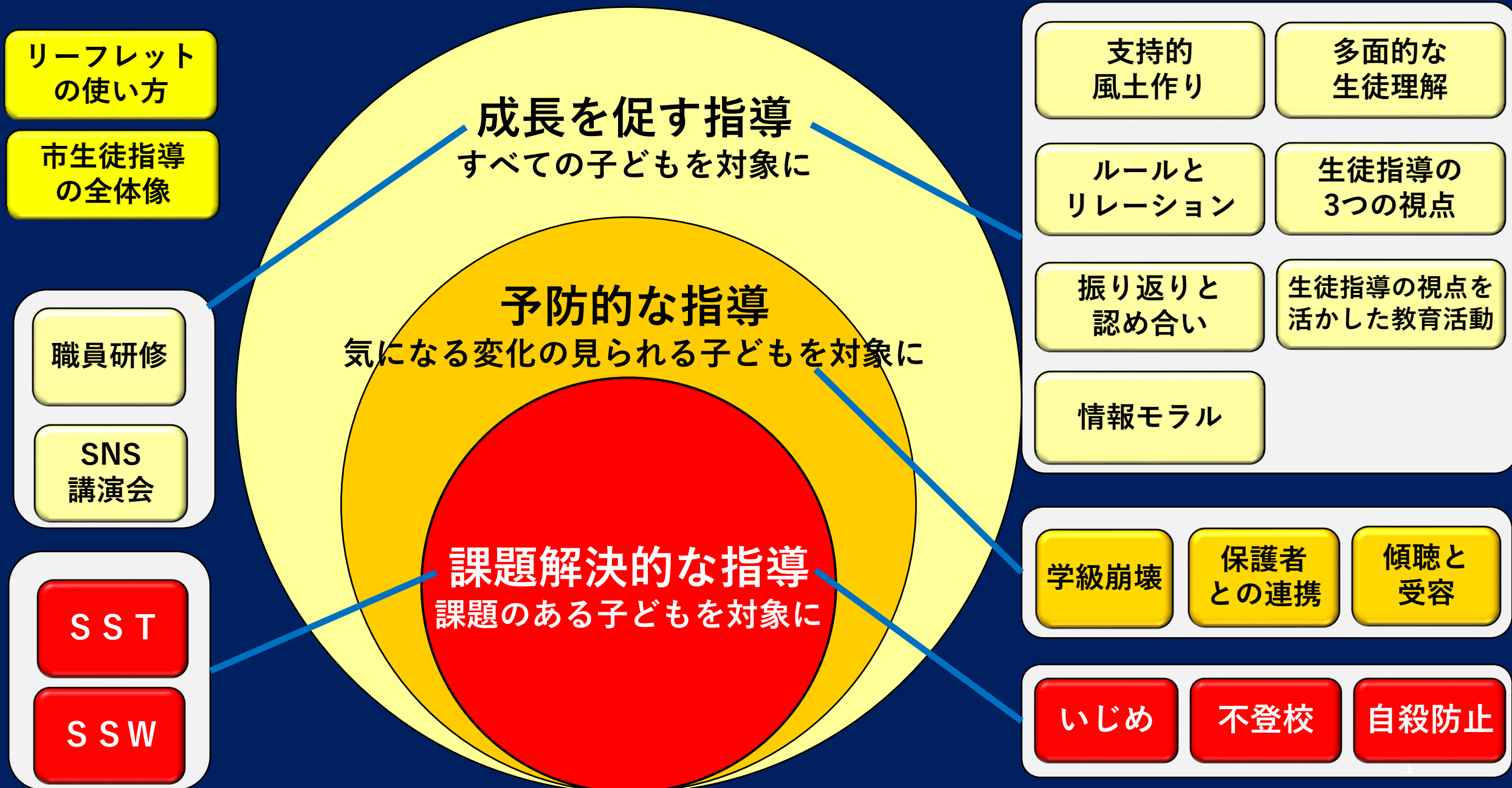
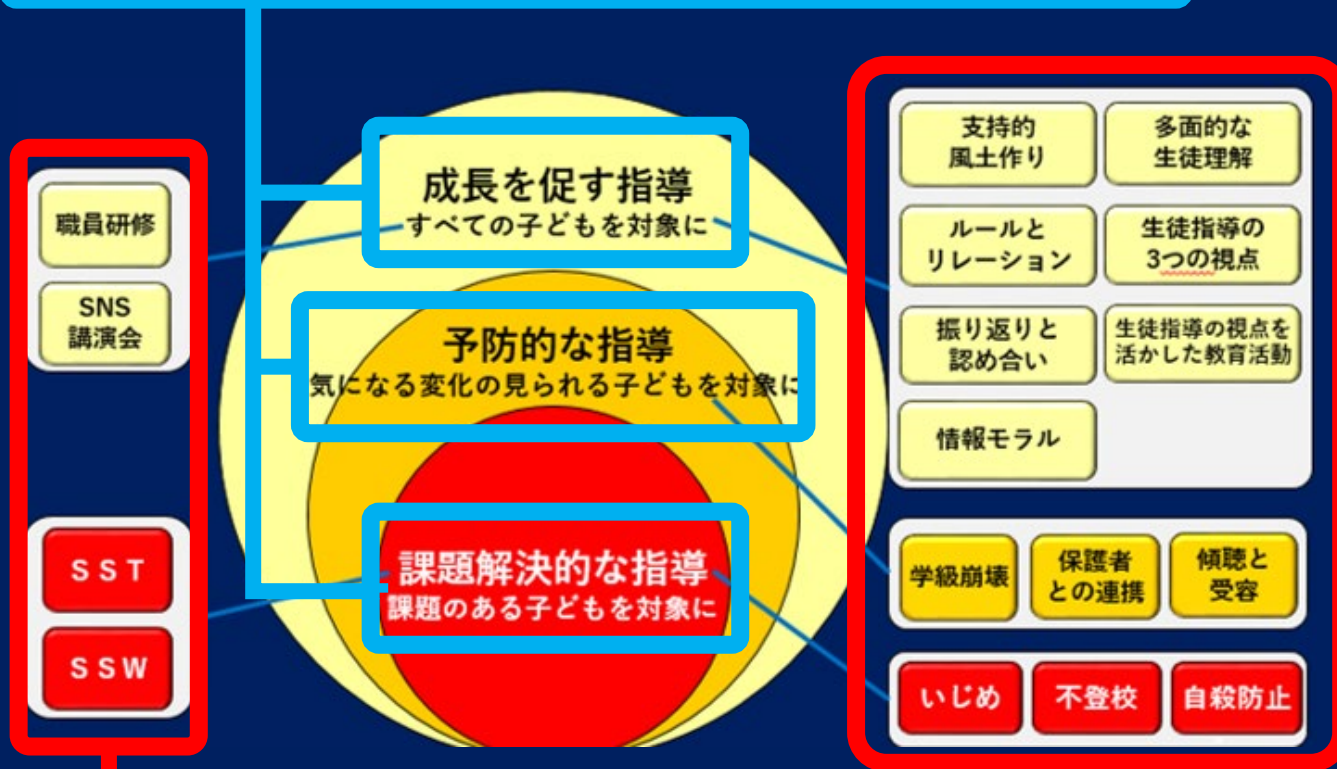


新潟市の生徒指導「自立を促す生徒指導の推進」



このリーフレットの使い方

各指導のキーワードを確認できます。



ボタンの説明



次のページに進みます。



トップページに戻ります。



各テーマのメニューページに戻ります

トップ画面から、知りたい情報を選んで、ボタンをクリックしてください。

成長を促す指導 すべての子どもの対象に

- [支持的風土作り](#) ・ 支持的風土の醸成 ・ 令和4年度の方針と取組 ・ 学級づくりのヒント ・ たより「テロワール」
- [多面的な生徒理解](#)
- ルールとルレーション ・ [話の聴き方の留意点](#) ・ [話の聴き方と指導（行為と行動理由）](#)
- 生徒指導の3つの視点 ・ [自己決定](#) ・ [自己肯定感](#) ・ [共感的な人間関係](#)
- [振り返りと認め合い](#)
- 生徒指導の視点を生かした教育活動 ・ 人権教育, 道徳教育, 同和教育 ・ 授業づくり ・ 総合的な学習
・ 特別活動 ・ 教育相談活動
- 情報モラル ・ [GIGA宣言](#) ・ [情報化ビジョン](#) ・ [アクセス履歴, 画像データ確認](#) ・ ガイドライン（故障, 破損, 盗難）
・ ガイドライン（ビデオ, カメラ撮影） ・ GIGA漫画（持ち帰り編）
- [職員研修](#)
- [SNS講演会](#)

予防的な指導 気になる変化の見られる子どもを対象に

○学級崩壊

- ・ [進行推移見立て参考表](#)
- ・ [原因, 改善に向けてのポイント](#)
- ・ [対応と手順](#)
- ・ [面談記録用紙 \(子ども\)](#)
- ・ [面談記録用紙 \(職員\)](#)
- ・ [学級会の持ち方](#)
- ・ [学級づくりアンケート](#)
- ・ [「めあて」振り返りカード](#)

○[保護者との連携](#)

・

○[傾聴と受容](#)

課題解決的な指導 課題のある子どもを対象に

○いじめ

- ・ [初期対応ガイドブック](#) ・ [新潟市いじめ防止等のための基本的な方針](#) ・ [いじめの定義と歴史](#)
- ・ [いじめ程度表](#) ・ [いじめの4層構造](#) ・ [重大事態](#) ・ [保護者対応](#) ・ [指導案「いじめの知識理解」](#)
- ・ [誰もが安心して過ごせる学校づくりを目指して](#)

○不登校

- ・ [初期対応ガイドブック](#) ・ [市教育ビジョン第4期実施計画指標](#) ・ [児童生徒理解・教育支援シート](#)
- ・ [不登校のパターン](#) ・ [目標設定シート（6つの視点）](#) ・ [短期介入マニュアル（保護者向け）](#)
- ・ [フリースクール](#) ・ [公的機関等に通所の定期券（文科通知）](#) ・ [出欠の取り扱い（文科通知）](#)
- ・ [ICTを活用した学習支援（文科事務連絡）](#)

○自殺防止

- ・ [緊急対応の手引き（文科）](#) ・ [自殺予防に係る取組（文科通知）](#) ・ [文科大臣メッセージ](#)
- ・ [夏休み明けの自殺対策（文科通知）](#) ・ [市の現状](#) ・ [R4ゲートキーパー養成研修資料](#)
- ・ [新潟県自殺予防教育プログラム（SNS教育プログラム）](#)

○SST

- ・ [SSTとは](#) ・ [SSTの役割](#) ・ [SSTの支援過程](#) ・ [活用依頼](#)

○SSW

- ・ [SSWとは](#) ・ [SSWの役割](#) ・ [SSWの援助過程](#) ・ [活用依頼](#) ・ [活用ガイドライン](#)

NIIGATA GIGA SUPPORT WEB

【学級の支持的風土】から確認してください

多面的な生徒理解

児童生徒を理解するために、特に重要と思われるもの

児童生徒を理解するために、特に重要と思われるもの

能力の問題 : 身体的な能力, 知的な能力, 学力

性格的な特徴 : 禁止や叱責が有効なのか, 激励が必要なのか。非行の傾向は？
情緒的に不安定になりやすい性格か？

興味, 要求, 悩み : どのような方面に興味を持っているか。何を要求しているのか。
何に悩みを持っているか。

交友関係 : どのような友人とどのような交際をしているのか（学校内外）。
交友関係の中で, 当該児童生徒はどのような位置にあるのか。

その他 : 家族の人間関係や家庭の雰囲気。成育歴。近隣社会の状況。

ルールとリレーション

生徒指導とは

ルールとリレーションのバランス

丁寧に話を聴くことが大切

行為と行動理由は切り分けて
指導することが大切

ルールとリレーション

生徒指導とは

子どもたちが**ルール(規律)**に基づいた行動様式を獲得するとともに、**リレーション(親和的な交わり)**を構築する中で、様々な課題を解決し、豊かな人間へと成長できるように促すことです。

ルールとリレーション

ルールとリレーションのバランス

～ バランスが大切 ～

ルール
(規律)

共有の目標がある

一人一人に役割がある

秩序がある

リレーション
(親和的な交わり)

認め合う関係がある

互いに助け合う関係がある

本音で感情交流ができる

ルールとリレーション

丁寧に話を聴くことが大切

話の聴き方の留意点①

状態を聴く



情動を聴く



次の一手を
一緒に考える

- 本人・家族・クラス・友人などの状態を聴く
- 一步引いて全体を俯瞰しながら
- × 過去の例と同じだな、どうせ言い訳だろう
- 何に困っている？
- その時どう思った？
- 頑張りや努力を聴く
- ※ 言葉だけでなく、目線、口調、態度も注意して感じ取る。
- これからどうしたい？
- 親に話していい？どうしてほしい？
- 明日からのやり方をどう変えていこうか？
- 何を手伝えばいい？

話の聴き方の留意点②

当該児童生徒一人一人とコミュニケーションが取れる職員が面談することが重要。
担任との関係が築けていない場合は、前の担任、学年主任、生活指導主任（生徒指導主事）、養護教諭、教頭、校長等、関係性が築かれている職員が面談する。
校内で対応できない場合は、スクールカウンセラー、SST、SSWへの依頼も検討する。

ルールとリレーション

行為と行動理由は切り分けて指導することが大切

話の聴き方と指導

Relation = 信頼関係

傾聴・受容

感情は受容する

そうか、それでムカついたんだね。

どちらも重要

Rule = 規範意識

規範を示す

感情は受容しても、誤った行動は正す

気持ちは分かったけど、だからといって、殴ってしまったのはよくなかったね。

生徒指導の3つの視点

自己決定の場を設定する

自己肯定感を得られる場を設定する

共感的な人間関係をはぐくむ

生徒指導の3つの視点

自己決定の場を設定する

自己決定のための情報提供

考える視点や方法，調べ方などについて情報を与える。

自己決定に向けた活動場面づくり

気付いたことや考えたことをノートに書かせるなど，発表や意見交換の前に，調べたり，考えたりする時間を確保する。

自己決定の場面設定と環境づくり

ペアやグループ，学級の中で，自分の考えを発表する場面を設定する。

生徒指導の3つの視点

自己存在感を得られる場を設定する

存在感を育む環境づくり

承認や称賛、励ましを積極的に行う。

個別に存在感を育む場面づくり

一人一人の良いところを具体的に評価しながら、計画的な机間指導を行う。

仲間と存在感を感じ合えることができる場づくり

ペアやグループ活動等を取り入れ、協力して活動する中で相互交流を図る。

生徒指導の3つの視点

共感的な人間関係をはぐくむ

教師の共感する姿勢づくり

児童生徒の発言，発表にうなずきや相槌で応える。

仲間との共感的関係を育む場づくり

相互評価など，互いのよさを認め合う活動を取り入れる。

共感的関係を確認し安心できる
雰囲気づくり

友達の発表に対して，発表者の方を向いて聞かせたり，拍手をしたりする
ような雰囲気づくりを行う。

「振り返り」と「認め合い」

成長を実感する自己の振り返りと認め合い

取り組んだ過程の振り返りと認め合い



生徒指導の視点を活かした教育活動

人権教育・道徳教育
同和教育の充実

生徒指導の機能を
生かした授業づくり

他者と協働し課題を
解決する総合的な学習

自分を認め、他者を認める
特別活動

問題行動の未然防止に
つながる教育相談活動

他者と協働し課題を解決する総合的な学習

コミュニケーション力を高める

考えを伝え合い合意形成し、課題を解決する学習により、コミュニケーション力を高めます。
また、外国語などを用いた積極的なコミュニケーションや、道具としてICT機器を用いたコミュニケーションを意図的、計画的に取り入れることも重要です。

社会に開かれた教育課程

保護者、地域、学校が子どもや地域の実態を共有した上で、「目指す子ども」の姿を明らかにします。併せて、地域の課題、地域の願いから学習課題を設定し、地域と協働した学習を展開する中で、目指す子どもの姿に近づく力を育成していきます。

情報モラル

新潟市GIGA宣言

教育の情報化ビジョン

ICT端末のアクセス履歴及
び画像データ確認

学習端末の夏休み活用について
（保護者配付用）

GIGA漫画
（夏休み持ち帰り編）

GIGAガイドライン
（故障・破損・盗難時）

GIGAガイドライン
（ビデオ・カメラ撮影）

学級崩壊

進行推移見立て参考表

原因・改善に
向けてのポイント

学級が落ち着かない状況
への対応と手順

面談記録用紙
(子ども)

面談記録用紙
(職員)

学級会の持ち方

学級作りアンケート

「めあて」振り返りカード

保護者との連携

現在 準備中です



傾聴



いじめ

改訂版 いじめ・不登校の 初期対応ガイドブック (いじめ編)

新潟市の生徒指導は、子ども一人一人の「成長を促す指導」を充実させることで、「予防的な指導」や「課題解決的な指導」の必要な児童生徒を生まない取り組みを実施しています。しかし、近年、いじめの早期解決が困難なケースの増加や、新たに不登校状態を呈する児童生徒の増加が認められます。これらの増加を防ぐためには、「初期対応」を適切にかつ丁寧に行うことが大切です。「いじめ・不登校 初期対応ガイドブック」は、各学校が、いじめと不登校の初期対応を、適切にかつ丁寧に行うための、「具体的な進め方」の一つとして平成30年4月作成配付しました。

この度、「いじめ・不登校 初期対応ガイドブック」を改訂し、より適切に初期対応を行えるようにしました。

各校において、「改訂版 いじめ・不登校 初期対応ガイドブック」を全職員で周知し、適切ないじめ対応を行っていただければと思います。

新潟市教育委員会
平成30年4月作成
(令和4年4月一部改訂)

新潟市いじめの防止等の
ための基本的な方針

誰もが安心して過ごせる
学校づくりを目指して

いじめの定義と歴史

いじめ程度表

いじめの4層構造

重大事態

保護者対応

指導案
「いじめ知識理解」

いじめ初期対応ガイドブック

いじめ・不登校対応を
チームで行うために

いじめ等の初期対応の
基本的な流れ

情報のキャッチ
正確な実態把握

指導体制と方針の決定
(対応ミーティング)

子どもへの支援・指導
(被害・加害)
(観衆・傍観者)

保護者への連絡・連携

今後の対応

資 料
(いじめ状況把握シート)

不登校

いじめ・不登校の 初期対応ガイドブック (不登校編)

新潟市は、子ども一人一人の「成長を促す指導」を充実させ、自立性と社会性を育む生徒指導を推進してきました。しかし、近年、いじめの早期解決が困難なケースの増加や、新たに不登校状態を呈する児童生徒の増加が認められます。これらの増加を防ぐためには、「初期対応」「予防的な指導」「課題解決的な指導」を適切にかつ丁寧に行うことが大切です。「いじめ・不登校 初期対応ガイドブック」は、各学校が、いじめと不登校の初期対応を、適切にかつ丁寧に行うための、「具体的な進め方」の一つとして作成しました。

新潟市教育委員会
平成 30 年 4 月

新潟市教育ビジョン
第4期実施計画指標

不登校のパターン

児童生徒理解・
教育支援シート

目標設定シート
(6つの視点)

短期介入マニュアル
(保護者向け)

新潟市フリースクール等
連絡協議会連携の全体像

学校外の公的機関等に通
所する場合の通学定期乗
車券制度の適用について
(H5.3文科省通知)

出欠の取り扱い
【学校外の公的機関や民
間施設利用・ICT活用】
(R1.10文科省通知別記)

ICT等を活用した
学習支援について
(R2.9文科省事務連絡)

不登校初期対応ガイドブック

いじめ・不登校対応を
チームで行うために

1 不登校のサインの
キャッチと早期対応

2 欠席連絡の聴き方と
対応

3 家庭訪問のポイント

4 家庭訪問の留意点

5 保護者の訴え聴き方，気持ちの支え方
6 家庭訪問が終わったら

7 留意事項
8 資 料

自殺防止

子どもの自殺が起きたときの緊急対応の手引き
(H22.3文科省)

児童生徒の自殺予防に係る取組について
(R3.12文科省通知)

児童生徒や学生等に向けた自殺予防に係る
年始の文部科学大臣メッセージについて
(R3.12文科省事務連絡)

新学期に際しての学校における新型コロナ
ウイルス感染症対策及び自殺対策について
(R3.8文科省通知)

新潟市の現状

R 4 ゲートキーパー
養成研修資料

新潟県自殺予防教育プログラム
SNS教育プログラム

今後の方針①一抑止のためにー

●抑止段階では、教職員によるアクセス履歴や画像の点検活動は、行わない。

- 不適切なアクセスをフィルタリングで制限する(基本)。
 - その上で、GIGA宣言に立ち返らせる指導を徹底する(基本)。
 - 「端末で消しても教育委員会が履歴確認できる」ことを意識させる。
 - 定期的なセルフチェックの機会の設定する。
 - 情報モラルの授業を行い、心を耕す。(※不正使用リスクを知る)
 - 持ち帰りを確実にを行い、家庭でのモラル育成への協力を呼び掛け、保護者を啓発することで連携して取り組む。
- ※ 市教委作成ビデオ「家庭での端末活用のおすすめ」等を活用する。



今後の方針②一兆候，発生時の指導一

○重大事案になる可能性がある場合は，教育委員会に連絡する。

○他の児童生徒等からの情報提供等で，不適切利用の兆候を感じた場合は，まず本人や周囲への聞き取り指導で対応する。聞き取りの中で，いじめ等につながる画像等が確認された場合は，複数の教職員立会いの下，本人に削除させる。

○不適切サイトの閲覧や不適切な画像を教職員が目撃した場合，その場で指導する。
不適切画像は，本人に削除させる。場合によっては，保護者に来校してもらい，家庭と連携して指導する。



今後の方針③ー教育委員会の取組ー

- 引き続き不適切なアクセスをフィルタリングで制限する。
- インターネットアクセスが原因で重大事案が起きた場合、履歴をたどり、学校と情報を共有して対応する。
- 情報モラル指導資料の開発を進め、学校に提供する。
- 情報モラル研修を実施する。(1月)
- 保護者向け啓発資料を作成し、学校とともに、家庭への啓発活動を行う。
- 来年度に向けて、確認書を修正する。

I -2 児童生徒の合言葉「新潟市GIGA宣言」



市内全校・全学年を通じて、シンプルな2つの合言葉「新潟市GIGA宣言」を
考え方とともに日々繰り返し指導し、子どもに浸透させてください。



わたし たんまつ りよう つぎ まも
私たちは端末を利用するときに、次のことを守ります。



花野古町

まな ふか がっこう せいかつ ゆた かつよう
学びを深め、学校生活を豊かにするために活用します。

ひと いや ひと きず つ
人が嫌がることや人を傷付けることはしません。



笹団子郎

I-2 児童生徒の合言葉「新潟市GIGA宣言」



市内全校・全学年を通じて、シンプルな2つの合言葉「新潟市GIGA宣言」を考え方とともに日々繰り返し指導し、子どもに浸透させてください。

① 学びを深め、学校生活を豊かにするために活用します。

①についての考え方

端末貸与は、学びを深めることが一番の目的です。同時に、デジタル社会で生きる子どもたちに、人生のあらゆる場面で、デジタルを安全かつ効果的に活用し、自らの人生を豊かにするために生かしていく力も大切です。ですから、授業での積極的な活用は当然として、学校生活を豊かにするための活用もできるように指導してください。例えば、委員会活動、部活動、係活動、学校行事などで活用することで、児童生徒の創造性が輝く姿が見られるはずです。



【新潟市の子どもに育成する資質・能力】

これからの社会をたくましく生き抜く力

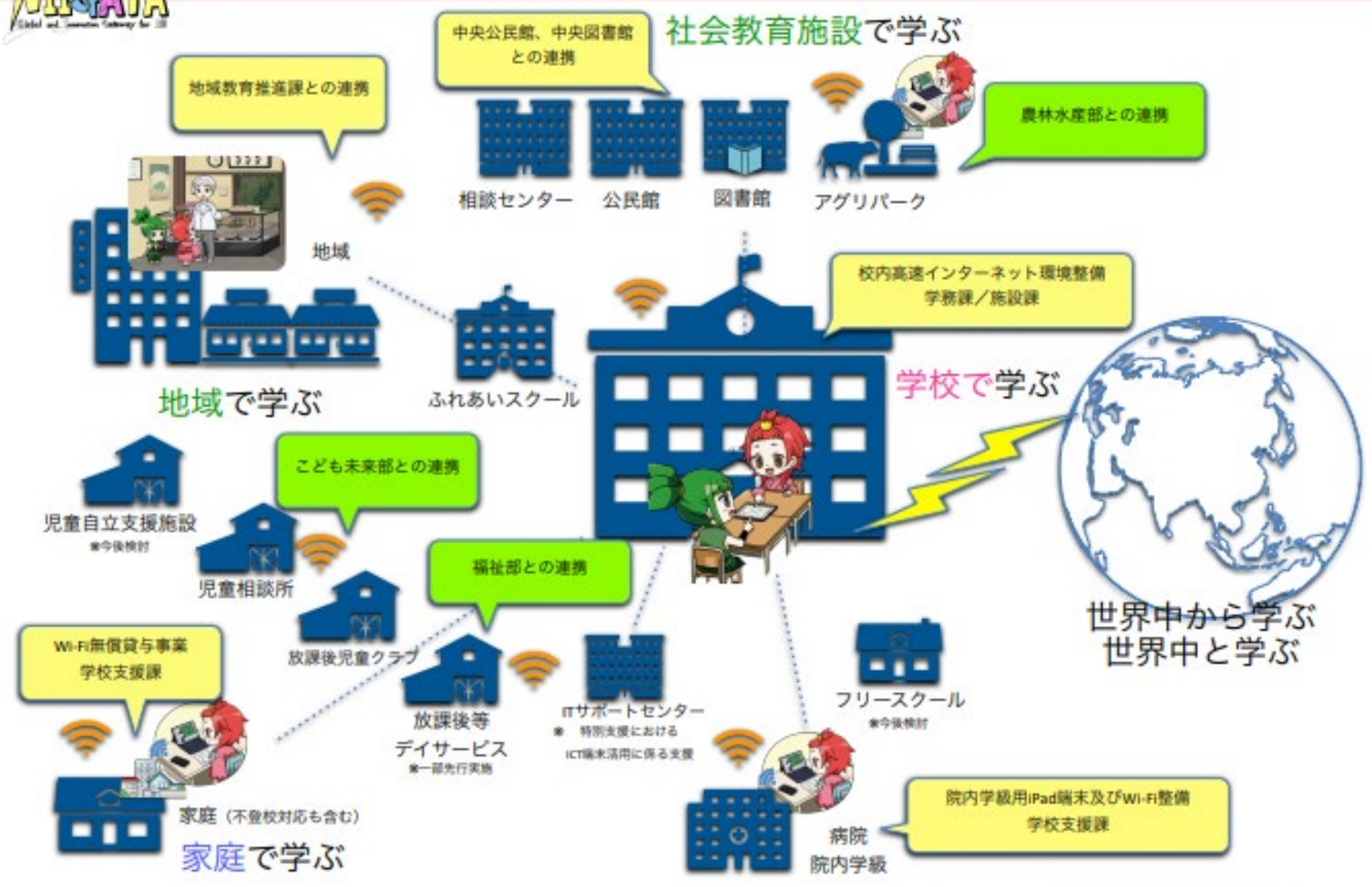


GIGA環境整備 【すべての人に使いやすい学習環境】

- 1人1台情報端末 (小学校・中学校・中等教育学校・特別支援学校・高等学校)
- 無線LANは今後の動向を注視していく。
- 指導者用端末整備 (授業担当者)
- 高速インターネット環境の構築

校務環境整備 【安全や働き方改革を支援した校務環境】

- 教育ネットワークの構築
- 校務支援システム
- セキュリティポリシー



今後も連携を広げていく

職員研修

内容については
相談に応じます

【R 3 の実績】

○実施状況：小学校 6 校

○内 容：

- ・ いじめの歴史・認知・未然防止・初期対応
- ・ いじめ問題における内省を促す指導・支援について
- ・ いじめ・不登校について
- ・ 不登校対応について
- ・ 不登校の未然防止につながる学級づくり・学校づくり
- ・ 不登校が長期化する児童における保護者との連携のあり方

○申 込 先：学校支援課生徒指導班（025-226-3299）

S N S 講演会

内容については
相談に応じます

【R 3 の実績】

- 実施状況：小学校 5 校，中学校 4 校
- 対 象：学年，複数学年，全校，次年度新入生，保護者
- 講演内容：タイトル「S N S 防災訓練」
 - ・ S N S の便利さと危険性
 - ・ オンラインゲームの危険性
 - ・ ネット依存の危険性
 - ・ ネットいじめ等の実態 等前半は発達段階に応じてプレゼンを使用した説明
- ・ 後半は「我が家のルール作り」
ワークシートに使用時間や使用場所，使用時の注意点などを
児童生徒が直接書き込む活動を実施
- 申 込 先： 学校支援課生徒指導班（025-226-3299）

警察との連携

いじめた子どもに対して必要な教育上の指導を行っているにもかかわらず、その指導が十分な効果を上げることが困難な場合において、その行為が犯罪行為として取り扱われるべきと認められるときは、いじめられている子どもを徹底して守り通すという観点から、学校は、ためらうことなく早期に警察に相談することが必要です。(※1)

しかし、14歳以上の場合、その行為が悪質ならば強制捜査により逮捕されることがあり、その場合、報道発表されることもあります。そのようなとき学校は、関係した子どもやその家族だけでなく、全校の子どもたちや保護者、地域に対してどのように対応し、行動していくのか、しっかりとした見通しが必要です。

犯罪行為として取り扱われるべきと認められる行為とは…

暴行 傷害 強要 窃盗 恐喝 器物損壊等 強制わいせつ など

**的確に
判断することが
重要**

いじめや教員への暴力・暴言・授業妨害などが

- ① 刑法に抵触する犯罪に該当するのか…
- ② 民法上の不法行為なのか…
- ③ 道法行為には至らないが社会的に是認されない行為(マナー違反)なのか…

連携のポイントは…

「方針」と「見通し」をもつ	警察に指導を「丸投げ」することなく、子どもをどのように導いていくのか「学校が担う役割」と「警察が担う役割」を明確にする。
初期の段階から連携を始める	特に暴力などの被害が予想される場合は、重篤になる前に連携する。
より強力な行動連携を目指す	警察との情報交換は、電話で済ませることなく、日頃からお互いの顔が見える連携を進める。
窓口を定める	学校では、警察関係の担当者を決め、情報の共有と整理をしておく。
保護者や地域の理解を得る	学校の対応方針について、理解を得るように日頃から十分説明する。

通知・参考資料

- 通知**
- いじめ問題への取組の徹底及びいじめに関する事故報告について(通知)(平成24年7月17日付教文第443号)
 - 問題行動を起こす児童生徒に対する指導について(通知)(平成19年2月5日付 文教科第9019号)
 - 犯罪行為として扱われるべきと認められるいじめ事案に関する警察への相談・通報について(通知)(※1)(平成24年11月2日付文教科第813号)

- 発行物**
- 新潟市が推進する生徒指導の取組「子ども一人一人の成長を促すために」(新潟市教育委員会)
 - 新潟市の生徒指導上の諸問題の現状と今後の取組(平成24年2月)
 - 「生徒指導リーフ」シリーズ(国立教育政策研究所)

文部科学省生徒指導関連URL: http://www.mext.go.jp/a_menu/shidou/seishidou/index.htm
国立教育政策研究所URL: http://www.nier.go.jp/04_kenkyu_anna/div09-shido.htm

いじめ見逃し
ゼロに向けて

誰もが 安心して過ごすことのできる 学校づくりを目指して

いじめは決して許されないことであり、その兆候をいち早く把握し、迅速に対応することが求められます。「いじめは、どの学校にも、どの学級にも、どの子どもにも起こりうる」という認識にたつて、すべての教職員が、未然防止や早期発見、組織的な対応に徹底して取り組むことが必要です。このリーフレットは、いじめ問題に臨む姿勢や指導のあり方を、新潟市の全教職員で共通理解するためにまとめたものです。



いじめは どの学校にも どの学級にも どの子どもにも 起こりうる

教職員の姿勢

**積極的・組織的に、
いじめを見付け
子どもと共に課題解決を図る**

小さなサインも見逃さない
一人で抱えこまない
組織的に取り組む

いじめ解決への対応

方針を決め組織的に対応する

課題解決のために
・課題解決の方針を共通理解
・事実確認、情報収集
・支援と指導
経過観察

信頼関係

子どもと
保護者と
地域と

いじめの早期発見

**いじめは
観ようとしなければ見えない**

日常の観察
こまめな記録の積み重ね
アンケート等の活用
教育相談体制の充実

いじめ未然防止

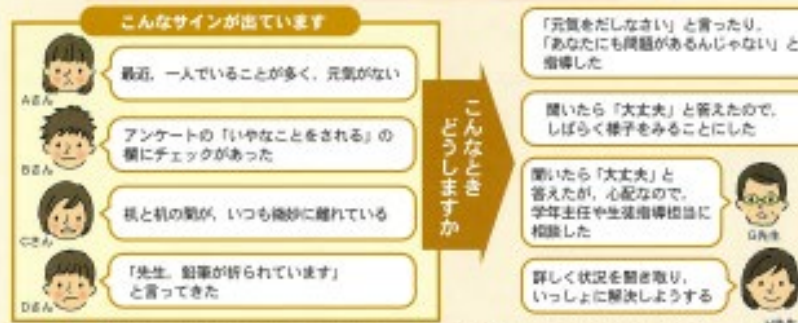
**いじめを生まない
人間関係・学校風土づくり**

わかる授業・できる授業
一人一人を大切に
生かす日常活動
保護者・地域との協力体制

いじめ見逃し ゼロ

新潟市教育委員会

問題を子どもとともに解決しようとする



私たちは、子どもたちが出している「サイン」にどれだけ気付くか、どのように対応しようとしているのでしょうか。「これを取り上げると時間や手間がかかるな」と、つい思いがちです。しかし、このような初期段階での不十分な対応が、後の大きな問題につながり、解決までに多くの時間を要することになるのです。

見えないものを見えるようにするには1人の力では難しい

たとえば...

日常における子どもと交わす何気ない会話や行動観察こそ、子どもの実態を把握するキープポイントです。

仕返しが欲しい、親に心配がするなあ...

子ども

うちの子へのいじめがエスカレートしていきないうちに...

保護者

【担任】 普段の様子	☐ 日頃からいじめに気づいているか ☐ 教室ではだれと過ごしているか ☐ 日記や生活ノートで気付くことはないか ☐ 家庭のことで苦になることを書いているか ☐ 落ち込んでいたり、急に明るくなったりしていないか
【教科担当】 授業の様子	☐ 発言に対して冷やかしかやほし立てではないか ☐ グループづくりで孤立したことはないか
【養護教諭】 保健室での様子	☐ 来室が急に増えたり減ったりしていないか ☐ 特定の時間や曜日に来室が多くなっているか
【清掃・委員会担当】 活動の様子	☐ いつも大きな仕事を担当していないか ☐ 分限を決める際に不意なことはないか
【学年担当以外の職員】 担任の見えないところを聞き	☐ 登下校のときに孤立していないか ☐ 休み時間や行事の行動で気になる様子はありますか
【部活動顧問】 部活動の様子	☐ ペアを作るときに自然にできていないか ☐ 失敗を責められているか ☐ いつも後進を走っているということはないか

アンケート調査は複数の目で点検することが重要です

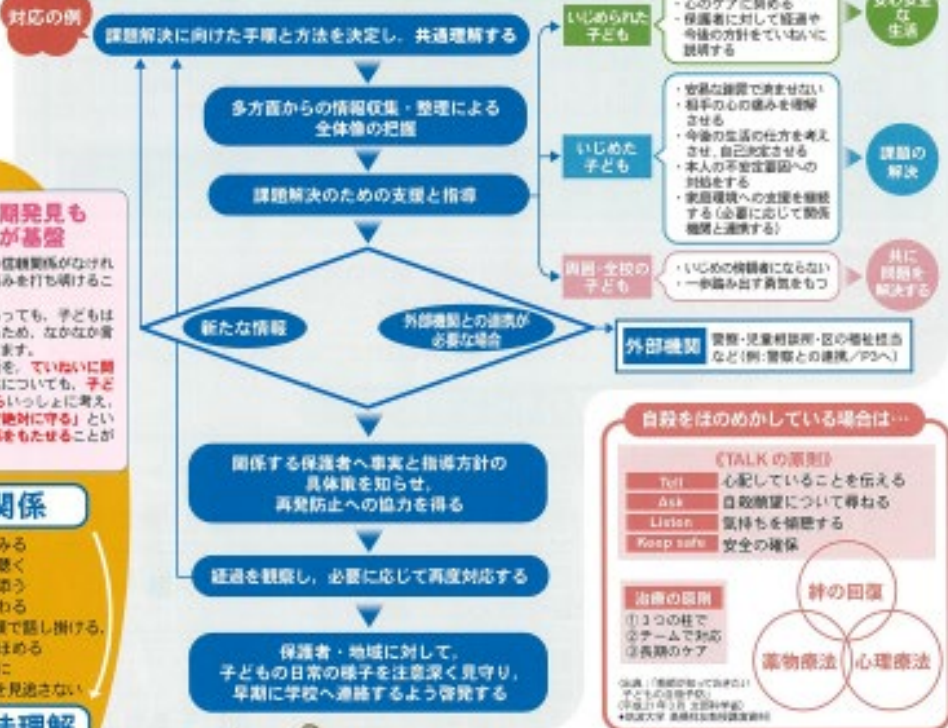
情報収集・整理
共有
誰が行うか
何をやるか
いつ行うか
ミドルリーダー
学年主任
生徒指導担当

見にくいいじめ
パソコンや携帯電話からネット上の掲示板、ブログ、プロフィールサイトなどへの誹謗中傷の書き込みや、メールによるトラブルが年々増加し、最近ではポータブルタイプのゲーム機の通信機能を使ったいじめも報告されています

地域に情報発信する際には、子どものプライバシーに十分に配慮することが大切です

地域からの情報
地域から学校の情報を発信し、地域からも情報をもらえる関係を築いておくことが大切です。
例えば、こんな情報があると役立ちます
・登下校で1人の子がたくさんの子の力添えをしている
・たくさんの子どもが遊んでいるが、いつも決まった子が仲間に入れないでいる

いじめを認知したら、方針を決め、組織的に対応



いじめの早期発見も信頼関係が基盤

子どもは、教師との信頼関係がなければ、いじめについて悩みを打ち明けることができません。
また、信頼関係があっても、子どもは常に不安を抱えているため、なかなか言いつけない場合があります。
まずは、子どもの話を、**ていねいに聞き取り**、その後の対応についても、**子どもの意向を尊重しながら**いっしょに考え、教師の力で「最後まで絶対に守る」という姿勢を示し、**安心感をもたせる**ことが大切です。

信頼関係

- 子どもをよくみる
- 子どもの話を聴く
- 子どもに寄り添う
- 子どもとつながる
- 1日1回、笑顔で話しかける
- 名前を呼ぶ、ほめる
- いじめや差別につながる言動を見逃さない

児童生徒理解

保護者・地域への情報提供と説明責任

いじめを生まない人間関係・学校風土づくり



子ども一人一人の成長を促す生徒指導

- 子どものよさを多面的に理解し、一人一人の子どもと教師との信頼関係を築く
- 全教育活動を通して、すべての子どもに「自律性」「社会性」を育成することを目指す、意図的・計画的な施策に取り組む
- 全校職員が当事者意識をもち、組織的に取り組む

新潟市の生徒指導リーフレット「子ども一人一人の成長を促すために」を自校化することがいじめを生まない学校づくりにつながります

S S T

S S Tとは？

S S Tの役割

S S Tの支援過程

S S Tへの相談は、各学校の校長から、学校支援課生徒指導班（窓口：総括指導主事）に依頼してください。

S S W

S S Wとは？

S S Wの役割

S S Wの援助過程

保護者の同意

S S W活用ガイドライン

S S Wへの相談は、各学校の校長から、学校支援課生徒指導班（窓口：総括指導主事）に依頼してください。

S S T とは？

【設立の経緯】

平成14年4月，西区の中学校で発生した集団暴行致死事件を契機に，児童生徒の**非行防止**及び**暴力行為の根絶**に向けた学校の取組を支援するために設置された組織。

【ねらい】

- ・当該生徒への直接対応と，学校全体の「集団の質」を高める支援
- ・学校・地域・家庭の「教育力」の向上のための支援
- ・暴力行為を繰り返し，学校や家庭での指導が困難な児童生徒を支援する。

S S T の役割

- ① 学校の課題把握と改善に向けた**管理職**、**教職員**等への指導・支援
- ② 課題を抱える**児童生徒**への指導・支援、**保護者**への支援
- ③ 積極的な**情報収集**
- ④ 学警連、生徒指導主事会との連携
- ⑤ 各区教育支援センターとの連携

S S T の支援過程

①問題の連絡・発見

校長などからの情報，教育支援センター・学校訪問などのアンテナ

②電話による状況の確認

「現状とこれまでの経緯」「学校で取り組んだこと」「外部機関との連携の有無」などの確認

③訪問による状況把握と分析・支援計画立案

問題を分析し，支援の方針を立てる

④支援

指導主事・S S W・関係機関とも連携しながら

⑤振り返り

方策・支援を振り返り，支援策の練り直しも

⑥終結



S S Wとは？

- 学校教育法施行規則65条 3 で規定された職
「ソーシャルワーカーは、小学校における児童の福祉に関する
支援に従事する」
- 教育・社会福祉などに関する専門知識を有し、問題を抱えた児童生徒に対して多様な支援の方法を用いて、課題解決の対応を図る人材。

S S Wの役割

- 「人と環境の関係性」を改善し、生活上の困難を抱えている本人やその家族が自ら対処する能力を高められるように支援していくこと = 「人と社会のつながりを調整」すること
(環境への働きかけ) が仕事
- 「社会資源」 (人・制度など) とつなぐ
- 「社会資源」 を調節・構築する→今はない資源をつくる
(ネットワーク構築)
- 「本人やその家族の代弁」をする→その人の権利を守る為に発信する (権利擁護)

S S Wの援助過程

担当・役割を変更する選択も

① **インタビュー** (相談受理)

② **アセスメント**

支援を方向づける重要なプロセス＝情報収集

アセスメントは、現在・過去における「個と環境」に関する広い情報を集め、整理し分析することで、背景にある課題や状況を的確に理解し把握する。

～子どもの思い・成育歴・家庭環境・環境要因・虐待・発達上の課題は何か？

背景は？ストレングスは？（ガイドラインP4）

③ **プランニング**

アセスメントに基づいた支援計画（着地点・支援方法・役割分担・関係機関につなぐのも選択肢の一つ）当事者の思い・ストレングスを生かす

④ **実行** (アセスメントとプランニングを共通理解してチームアプローチ)

⑤ **モニタリング**

ここまでのアセスメント・プランニング・実行を振り返り、必要に応じて再アセスメント

⑥ **評価**

⑦ **終結** 問題解決しての終結もあれば 担当を変更する形の終結も



保護者の同意は不要

保護者の同意が必要



「傾聴」と「受容」は「最高の人間関係を築く鍵」

自己有用感UP
自己肯定感UP

【傾聴】

相手を理解するために、積極的に関心をもって注意深く聴くこと。

そのためには、言語メッセージだけでなく、表情、しぐさ、声の調子から、言葉の背後にある感情を受け止めて共感することが大切である。

積極的な傾聴

(積極的に信頼関係を築くように聴く)

相手の伝えたい内容を
焦点化して、信頼関係性を
高めるように聴く

受動的・反動的傾聴を活用する。
質問したり内容を焦点化したりする。
感情を言い換える。

相手の理解と整理

(相手に反応して、共感しながら聴く)

相手に反応しながら、
相手の感情や努力に
目を向けて聴く

感情や話を要約する。
繰り返して、より深く共感する。
テンポ・声の調子を合わせる。

リレーションづくり

(相手を尊重し、丁寧に話を聴く)

気持ちを汲み取りながら、
相手が話しやすいように聴く

あいづちを打つ・うなづく
アイコンタクトをする。
話しやすい雰囲気をつくる。

こんなこと、していませんか？

非言語的表現の軽視

- ①腕組み・足組み
- ②目線を合わせず
- ③ながらで
- ④時計を気にして
- ⑤環境・構造を無視

- 情報収集に走る
- 解決策を語る
- 自説を語る
- 正論を語る
- 体験を語る

こんな聴き方、いいですね！

F. E. L. O. R

- ①Face (相手の顔を見る)
- ②Eye contact (目を合わせて)
- ③Listen (前傾姿勢で)
- ④Open (心を開く)
- ⑤Relax (リラックスして)

傾聴する (フィードバック)

- ①内容
- ②感情
- ③ふんばり

言語で伝わるメッセージは
約7%

非言語で伝わるメッセージは約
93%

こんなことが、大切ですね！

非言語を観察して聴く
非言語を意識して話す

【受容】

傾聴を行うことで、引き出された、相手の気持ちや考えを尊重し、相手が、安心感を得ること。そのためには、聴き手が、相手の考えや感情をそのまま受け止める態度や姿勢を示すことが大切である。